

U5H の成果を生かした五国交流事業の展開

兵庫、ふぞろいだから「愛」がある。



- 1 部局横断で実施する「五国交流」の展開
 - (1) 五国の再発見
 - (2) 五国周遊の促進
 - (3) 五国の食自慢の展開
 - (4) 五国ネットワークの形成
- 2 県民参画型広報プロジェクト「U5H」の推進

U5Hの成果を活かした五国交流事業の展開

地域への誇りや愛着の醸成、県内交流の促進、県外への五国の魅力発信を目的に、2019年2月より2年間展開してきた「兵庫五国連邦プロジェクト(U5H=United 5koku of HYOGO)」。

これまで、県民みんなで地元について語り合い、県と県民の方々との距離を縮めることを主眼に置いた広報プロモーションを展開してきた。

令和3年度は、「五国の多様性の発信」の基盤として、U5Hのコンテンツを充実・発展させていくとともに、多くの県民が、自分のふるさと以外の多彩な五国の歴史や食、スポットなどに興味を持ち、実際に訪れて体感・体験してもらうことを目的として、部局横断で「五国交流事業」を展開し、幅広く「兵庫五国」の魅力を県内外に発信していく。

1 部局横断で実施する「五国交流」の展開

127,252千円

(1) 五国の再発見

- ①〔新規〕兵庫の日本遺産の活用促進事業（政策創生） 4,323千円
五国にまたがり全国最多を誇る本県の9つの日本遺産を活かし、各日本遺産所在市町等からなるネットワーク組織を設置し、合同シンポジウムや巡回展などを広域展開
- ②〔新規〕れきはく“ひょうご五国”歴史文化キャラバン“(教育委員会) 2,574千円
県立歴史博物館の大規模改修に伴う休館中において、博物館活動を幅広く県民にPRするとともに、五国の歴史文化の魅力进行を伝え、ふるさと意識の醸成を図るため、県内巡回展を実施
- ③ ひょうごのふるさと魅力発見・発信事業（教育委員会） 4,934千円
児童生徒が兵庫への愛着を高めるため、身近にある自然・産業・伝統等について紹介、及びその背景等を解説する冊子「ふるさと兵庫 魅力発見！」を授業等で活用するとともに、県内の書店等で一般販売を実施
- ④〔新規〕ひょうごけん学習帳を活用した自由研究コンテストの開催（政策創生）8,595千円
県内全小学5年生に兵庫県地域創生戦略に基づく地域プロジェクト・モデルを紹介した学習素材を配布、地域学習を通したふるさと意識を醸成
- ⑤〔新規〕ひょうごのあけぼの五国フォーラムの開催（政策創生） 2,000千円
兵庫津ミュージアムの開館を機に、本県の成り立ちや歩み、個性豊かな五国の地域資源の理解を深める五国フォーラムを開催

(2) 五国周遊の促進

- ① ひょうごツーリズムバス（兵庫遺産周遊分）、県民交流バス（ひょうご五国めぐり分）の実施（産業労働部、知事公室） 18,584千円
兵庫の地域遺産など五国のスポットを巡るツアーにかかるバス借り上げ代を助成
- ② 兵庫五国の観光協会等と連携した体験・周遊滞在型ツアー造成事業（産業労働部） 43,826千円 <県：30,226千円、ひょうご観光本部：13,600千円>
「9つの日本遺産」「御食国ひょうご」「芸術・文化体験」「六甲山の観光活用」「瀬戸内クルーズ」などを重点テーマに、五国の魅力を満喫する体験コンテンツの開発、ツアー商品化・流通促進を展開

- ③〔新規〕五国スタンプラリーの実施（政策創生、産業労働部） 2,914千円
eー県民アプリの電子スタンプの仕組みを活用し、五国に設定されたおすすめスポット（日本遺産、ビューポイントなどから選定）を巡るスタンプラリーをひょうご観光本部が実施する観光キャンペーンと連携して実施

- ④ 五国サイクルートの活用（各県民局）
「北摂里山」「北播磨」「但馬」「アワイチ」など五国それぞれの地域資源を繋いで設定されたサイクルートを活用した誘客促進

(3) 五国の食自慢の展開

- ①〔新規〕「ひょうご市場」の利用促進（政策創生） 27,672千円
楽天市場内に開設している公式オンラインショップ「ひょうご市場」において、①ポイント還元、②送料無料などのキャンペーンを実施して、五国の逸品絶品の販売を促進

- ②「御食国ひょうご」関連事業の展開（農政環境部） 11,830千円
五国の食品の需要拡大のため、「兵庫の美味しいものまとめサイト『御食国ひょうご』」の活用や、県認証食品の商談会・フェスティバルの開催、アンテナショップの開設

(4) 五国ネットワークの形成

- ① 県内市町間の交流・連携の促進（企画県民部、教育委員会）
都市部と多自然地域など個性の異なる市町間の連携を促進し、住民交流活動や、自然学校や社会見学の相互受け入れなどを拡大

2 県民参画型広報プロジェクト「U5H」の推進（知事公室） 6,345千円

WEBに集まる「五国あるあるエピソード」やあるあるマンガなどで、ふるさとへの共感、県内外の交流を図るとともに、県内企業やメディアなど更なる協働パートナーの獲得など、プロジェクトの基盤部分をより強固なものに充実・発展させていく。

また、庁内各部局と連携し、観光や移住・定住をはじめとした施策について、U5Hを活用した事業展開や情報発信を行う。

【参考：兵庫五国連邦プロジェクト（U5H）とは】

1 趣旨 ～「ふるさとを、みんなで作る」～

「五国」の地域性や内面的な個性・違いを切り口に、県民皆さんの声で地域の魅力を再発見していく参画協働型広報プロジェクト。（2019年2月スタート）

- ① 自らの地域に誇りと愛着心をもっていただく
- ② 他地域を認め合う「県内交流」を推進

兵庫、ふぞろいだから「愛」がある。



2 これまでの取組

(1) 「ふるさと」はそれぞれの小さなエピソードの集まり

- ・県民から広く「ふるさとあるある」エピソードを募集。
- ・投稿をWEBサイトに掲載するとともに、投稿を元にしたマンガをWEBに掲載。
（投稿は2021年1月末現在で1,513件、作成したマンガは計67本）
- ・五国のポスター（第1弾、第2弾）を制作。駅や高校、日帰り入浴施設等に掲示。

(2) 協働先を増やす

- ・地域情報誌や地元ラジオ局、県内企業、飲食店などとも協働。
- ・ターゲットに応じた、派生コンテンツも随時展開。

(3) 「県庁職員広報パーソナ化」の取組

- ・県職員全員に「U5H」バッジを配布。出身地等自らゆかりの地域に対する愛着心を醸成するとともに、五国ひいては兵庫県の魅力のPRにつなげる。（職員徽章にも代用）



問い合わせ先 企画県民部地域創生局地域創生担当 電話 078-362-4261
企画県民部広報戦略課広報戦略班 電話 078-362-3016